

一般質問

～12人の議員が市政を問う～

P5 平方 嗣世 議員

- 総合計画の進捗
 - ・副市長2人制発言
 - ・官製談合事件後の業務遂行
 - ・学校給食無料化
 - ・上信自動車道の影響

P5 田邊 寛治 議員

- トップの資質と政治哲学

P6 星野 安久 議員

- 高齢者用福祉バスの運行を
 - ・農地の保全と土地改良事業
 - ・公共施設のあり方の見直しを

P6 安カ川 信之 議員

- 認知症対策を急げ
 - ・合併10周年を迎えて
 - ・社会が支える介護ケアを

P7 山崎 正男 議員

- 金井東裏遺跡の保存と公園計画は
 - ・スラグ砕石除去の改修工事は

P7 池田 祐輔 議員

- 渋川市南部地域振興の事業方針
 - ・提案型事業委託制度の導入

P8 山内 崇仁 議員

- 渋川北部の地域振興

P8 今井 五郎 議員

- ふるさと納税について

P9 加藤 幸子 議員

- 市民サービス低下を加速する予算
枠配分1割カットをやめよ

P9 角田 喜和 議員

- 信頼を失った責任は大きい辞職すべき
 - ・入札改善ならず
 - ・スラグ撤去を急げ

P10 今成 信司 議員

- 今後の渋川市について
 - ・各地区の特色を生かしたまちづくりについて
 - ・都市区市町村と交流提携について
 - ・自然エネルギーについて

P10 中澤 広行 議員

- マイナンバー制度

● ● ● ● ● 平成27年9月定例会の日程(予定) ● ● ● ● ●

平成27年9月市議会定例会の日程は次のとおり予定しています。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 9月2日(水)・3日(木) 本会議(開会・議案上程) | 14日(月)・15日(火) 一般質問 |
| 4日(金)・7日(月) 常任委員会 | 16日(水)～18日(金) 決算特別委員会 |
| 8日(火) 予算常任委員会 | 25日(金) 本会議(表決・閉会) |
| 9日(水) 本会議(表決・決算議案上程) | |
| 10日(木)・11日(金) 本会議(決算議案上程) | |

一般質問



総合計画の進捗

平方 嗣世 議員

副市長2人制発言

質問 2月23日市長記者会見で、「副市長は2人にして1人は入札専門に担当してもらおう。」と発言。3月議会でも今回も「承知していない。」と答弁。事実ならばマスクミ各社に抗議すべきでは。

市長 2人制は議会で否決されましたが、不祥事を受け再発防止策として権限の分散も選択肢になるという趣旨で発言したものです。

官製談合事件後の業務遂行

質問 今回の事件は業務システム上の問題ではない。要は人材、自



給食風景

覚、法遵守、理性に欠けていた。副市長の監督指導、職務代行は市長。職員に負担をかけていないか。**総務部長** 市長の指示に基づき、これまで副市長に判断を仰いでいた部分を各組織のトップである部長職が判断して対応しています。

学校給食無料化

質問 子育て支援、定住対策として学校給食の無料化を目指した段階的値下げを行うべきと思うが。

市長 将来的には、国での無料化を期待していますが、市による段階的な支援策の実施に向けた検討を、担当部署に指示しました。

上信自動車道の影響

質問 洪川は通過点。特に洪川中心街、小野上、祖母島は影響が大きい。危機意識を持って対策を講ずるべき。また吾妻橋りょう2は小野上処分場建設の約束事。約束を守るのか。

企画部長 上信自動車道の整備により各地区が衰退しないよう取り組みます。また、橋りょうは地元要望として、引き続き検討します。



トップの資質と政治哲学

田邊 寛治 議員

質問 30年後の洪川市像。まちな形・財政状況、人口動態は。

企画部長 人口減少、財政の縮減が見込まれるが、人口7万人を堅持すべく、各地区の特性を生かした均衡ある発展を目指します。

質問 権限の基準をどこに置いて、権限の義務と責任の取り方は。

市長 事務の執行では、法令の遵守が基本であり、最も重要です。最高責任者として、信頼を回復するため、全力で取り組みます。

質問 予算編成の評価と問題点は。

総務部長 一般財源枠配分方式により、事業を見直すとともに、効率の良い予算編成を行っています。

質問 新規事業拡大による負担は。
総務部長 新規事業の実施は、市税や交付税の減少等を踏まえ、スクラップ・アンド・ビルドを基本とします。

質問 公平性、適材適所の人事、人材の登用ができていますか。

総務部長 人材育成基本方針に基づき、職員の希望等を踏まえ、人事の公平性の確保に努めています。



渋川市役所本庁舎

質問 阿久津市政の政策の大きなウェイトを占める大型公共事業が因果関係からして、この不祥事をもたらした要因になっていないか。
市長 計画の中で、個々の事業を精査しながら、合議制のもとで議論し、取り組んでいます。
質問 任命権者として市長は、任命責任、監督管理責任、道義的責任、市民への説明責任をどう果たしていくのか。
市長 市民の皆さまに多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、最高責任者として約束した課題解決に全力で取り組みます。